

N0315
泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724(83)4653

例会

- ・五月十一日(日) 九時 集合
場所 種河神社
- ・五月二十五日(日) 九時 集合
場所 種河神社

1. 大会結果

● 天女の羽衣伝説余呉湖ウルトラマラソン 4月19日(土)

この大会への参加は、毎年参加している十津川マラソンで知り合った南部さんという方に昨年12月の龍神マラソンで再会し、ウルトラマラソンにも参加していると話しをしたところ南部さん自ら主催者となり3年前から琵琶湖北部にある余呉湖にて70kmのウルトラマラソンをやっているのは是非参加してくださいと言って手作りのパンフレットを頂いたのが参加の切っ掛けです。当初和田さんと二人で申し込んでいたのですが、先月の機関誌にも書いたようにお父さんの健康状態が悪くなり参加出来なくなりました。代わりに西さんに声を掛けたのですが都合が悪く結局、私一人での参加となり土曜日の夜中3時過ぎに家を出て会場に着いたのが5時半頃でした。この大会は、余呉湖の国民宿舎に宿泊費込みの参加費で15000円です。今回の参加者は53名で内女性23名でなんと若い方が多くて驚きました。コースは一週7kmの平坦でも走りやすく景色もなかなかのものでした。特に湖の周りには桜が満開で風に舞う桜吹雪の中を走るところも何カ所がありました。レースは、7時スタートで16時20分を超えて周囲には入れませんが、制限時間として10時間です。レース終了後各々ゴール前の宿舎で風呂に入り後は、相部屋で18時からの食事までマラソン談義、そして食事。その後部屋を替えて、表彰式及び抽選会と続き、最後は、各部屋に戻り飲みながらマラソン談義、これら全ての飲み代は、参加費に含まれているとのことでした。因みに今回は、美山マラソンで足を痛め約1ヶ月近くまともに練習してなくて足に不安を持ちながらの参加でしたが、足には特に異常もなく70kmを7時間7分で走りきることが出来、5月に走る萩往還に向けチョット安心した次第です。また、抽選会でもcwxのトレーニングパンツが当たり言うことなしの大会でした。ただチョット飲み過ぎとなり2日酔い状態で次の日はしんどかったです。こんな大会であれば来年も是非参加したいと思えます。

2. 大会案内

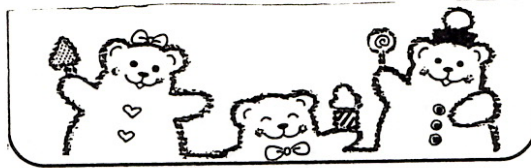
● 神鍋高原マラソン 8月31日

昨年は、連絡の不備で堀池さんが、一人で参加するはめになり本当に申し訳ないことになってしまいました。今年はそんなことの無いようにしたいと思います。参加される方は、岡田まで御連絡願います。宿泊先は、段取りいたします。



08年走行距離

| 氏名 | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------|----|-----|-------|-------|----|----|----|----|----|----|-----|
| 芝本 鈴代 | 月 | 542 | 540 | 369 | | | | | | | |
| | 累計 | 542 | 1,082 | 1,451 | | | | | | | |
| 和田 年弘 | 月 | | | | | | | | | | |
| | 累計 | | | | | | | | | | |
| 今仁 正義 | 月 | 233 | 188 | 159 | | | | | | | |
| | 累計 | 233 | 421 | 580 | | | | | | | |
| 堀池 一夫 | 月 | 134 | 103 | 113 | | | | | | | |
| | 累計 | 134 | 237 | 350 | | | | | | | |
| 栗野原 泰正 | 月 | 60 | 80 | 100 | | | | | | | |
| | 累計 | 60 | 140 | 240 | | | | | | | |
| 岡田 盛助 | 月 | 380 | 252 | 192 | | | | | | | |
| | 累計 | 380 | 632 | 724 | | | | | | | |
| 西 和秀 | 月 | 130 | 90 | 110 | | | | | | | |
| | 累計 | 130 | 220 | 330 | | | | | | | |



私はランナーでありライダーだ。

この二つは共通点が多いと私は思っている。 孤独な長距離ライダーと長距離ランナー。

ランナーにはランナーズハイがあり、ライダーにはライダーズハイがある。

私はジョギング中気持ち良くハイな気分になり、どこまでも、どこまでも二本の足で走れるんじゃないかなと思うことが時々ある。 これが私の、ランナーズハイかな。

これはある条件下で私の場合感じることができる。気候が良く景色の良い道をゆっくりと走り、そして体調もよく精神的にも安定している時にランナーズハイを体感する。 まあ、私はいつもゆっくりとしか走らないからかもしれないが。

そしてライダーズハイは、これも晴れてロケーションが良く、気持ちの良いウィンディングロードを走っている時に感じる。

去年の夏、四国の太平洋側をオートバイでツーリングした時にも、強くライダーズハイを体感した。

私のオートバイ、川崎重工製の空冷直立2気筒673ccエンジンから叩き出される排気音と鼓動、体に当たるこちよい風、そして海岸線をトレースする素晴らし道。またヘルメットのシールド越しに見える、境目がわからないほどの鮮やかな海と空の青さ。

そして私は気持ち良さが最高潮に達し、信号で停止した時思わずカワサキのタンクに頬ずりをしていた。 “愛しい私のカワサキ。”

ただの機械とは決して思えない、けなげに走るカワサキに私は切なさが込み上げてきていたのだ。

そして今考えてみれば、ジョギングも約25年、オートバイも34年の付き合いとなる。よっぽど私と相性がいいのだと思う。

この二つは私にとって非日常へトリップする為の麻薬（ドラッグ）だ。

追記

泉州マラソンにて36Kmの関門閉鎖、収容バス初体験しました。

少なからずショックでした。やはり練習量は正直ですね。